

第2回学校運営協議会(6月6日)

2回目の学校運営協議会を、6月6日に行いました。

テーマは、「熟議(じゅくぎ)」です。

聞きなれない言葉ですが、「十分に議論をつくすこと、相談すること」の意味です。

この熟議は、学校運営協議会を行う上で、とても大切な活動だといわれています。なぜなら、コミュニティスクールが発足される前までは、本校でも学校支援会議が開かれていましたが、参加者は、学校職員から教育活動の様子や児童の様子、いろいろな相談ごとを聞くことが多かったと思います。言い換えれば、学校から保護者・地域の方へ一方的に(全てではありませんが)情報が流される会議という色合いが強かったのではないのでしょうか。

コミュニティスクールでは、教職員、地域の方々、保護者が「熟議」を通してビジョンを共有する活動を大切にしています。

① 一人一人付せん紙に書き出しているところです。



前置きが長くなりました。当日は、上の写真のように、3つの小グループを作り、

「どんな子どもに育ってほしいか」

「彼杵っ子のよいところ」

「彼杵っ子の課題、もっと伸ばしたいところ」

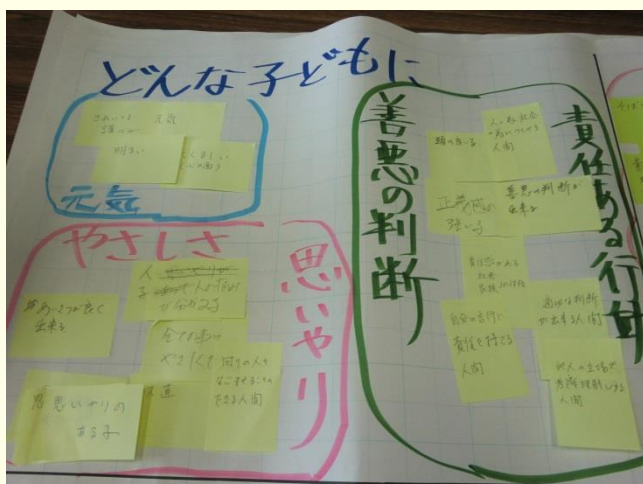
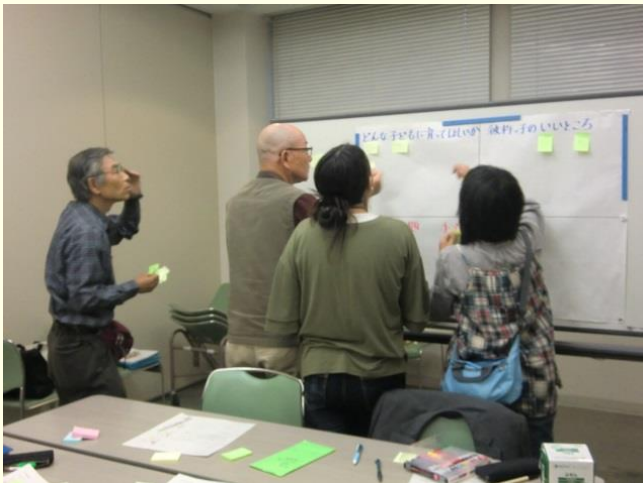
の3つのテーマについて、ワークショップ形式で話し合いをしました。

一人一人が書いた付せん紙は、左下のように仲間分けをしていきながら、まとめていき、最後にグループ別の発表をしました。

皆さん、終始とても意欲的で、たくさんの意見が出され、話し合いも活発に行われました。

次回は、今回出された意見をもとに、今後の重点活動を決めていきます。

② 付せん紙を模造紙に貼っていきます。同じ内容はまとめていきます。(下の写真ようになります。)



③ グループ別に発表し、意見の集約をしました。